2025 年 4 月 30 日
東北電力株式会社
東通原子力発電所

＜お知らせ情報（Ｃ情報）に至らないごく軽度な機器故障＞（月報）
（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））
２００９年１２月分（３月３１日現在）

No.	発生日	設　　備	概　　要	処置状況	発生場所
1	2009.12.7	プロセス計算機プラント自動化機能 （運転員の運転操作を補助する機能）	定期検査期間中，発電機を送電系統に連けいする際，送電系統の電圧と発電機の電圧の間に基準を超える差があったため，自動的に送電系統に連けいするための条件が成立せず連けいできなかった。 このため，発電機の電圧を調整したうえで手動操作により送電系統に連けいした。 現在，原因を調査中である。	対応中※1	中央制御室
2	2009.12.11	原子炉再循環ポンプ入口温度計 （原子炉内の冷却水を循環させるポンプの入口温度を測定する設備）	定期検査期間中，原子炉再循環ポンプ入口温度記録計の指示値が誤った値を示していることを確認した。 このため，当該温度検出器を点検したところ，検出器内部の断線が確認されたため，当該検出器を交換し復旧した。 原因調査の結果，当該検出器と接続されているケーブルが正しく固定されておらず，検出器内部に過大な力が加わったため断線したと推定した。 このため，点検時にはケーブルの取り付け状態を確認することを，工事仕様書に反映した。	処置済み	原子炉建屋

3	2009.12.29	換気空調冷却水設備（建屋内の環境を適切にするための空調設備に冷水（非放射性）を供給する設備）	定期検査期間中，換気空調冷却水設備の１系列において，２台ある冷凍機のうち運転中の冷凍機１台に故障を示す警報が発生し，自動的にもう１台の待機中の冷凍機に運転が切り替わった。 原因調査のため，当該冷凍機を分解点検したところ，冷凍機用の潤滑油ポンプモータの電源ケーブルが損傷していることを確認したため，潤滑油ポンプモータを交換し復旧した。 前回の分解点検時に損傷したものと推定し，点検後の復旧時にはケーブルの損傷がないことを確認するよう工事仕様書に反映した。	処置済み	原子炉建屋

※１　第４回定期点検時に当該機器を点検予定

・「不適合」とは，要求事項を満たしていない状態をいいます。

※処置状況欄記載の「対応中」，「補修済み・取替済み・復旧済み」，「処置済み」については，以下の状況をいいます。

・対応中　：要求事項を満足する状態に復旧中です。

・補修済み・取替済み・復旧済み：要求事項を満足する状態に復旧済みです。
今後，原因調査，対策等を講じます。

・処置済み：要求事項を満足する状態に復旧し，原因調査，対策等を実施済みです。
なお，今後，水平展開について検討・対応します。

・今月の更新箇所は下線で示しています。